

2016年3月

ampus Incubator

本インキュベータを巣立ち、 次のステップに進まれました。

バイオコム株式会社

●●● 代表者 福村 正之

●●● E-mail : info@biocomo.jp
URL : http://www.biocomo.jp/

●●● Office: 〒510-1233 三重県三重郡菟野町菟野1325番地
TEL : 059-392-7333 FAX : 059-392-7333



バイオコム株式会社は三重大学大学院医学研究科感染症制御・分子遺伝学教室とヒトパラインフルエンザ2型ウイルス (hPIV2) をもとに安全性の高い不活化ベクター**BC-PIV**を作製し、当該ベクターを用い感染症およびがんに対するワクチンの開発をおこなっております。

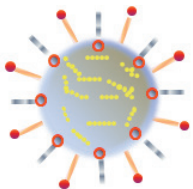
BC-PIV

ヒトパラインフルエンザ2型ウイルスベクターをもとに複数抗原を効率的に運搬できるよう工夫された不活化ベクター

●●● 事業内容

長所1. 極めて高い抗原導入量

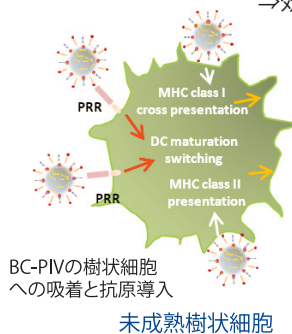
- ▶ 抗原をBC-PIVベクターの膜タンパクに融合させており、ベクター増産時に自動的に抗原が導入される(左図)
- ▶ 複雑でベクターへのダメージが大きい抗原導入操作が不要
- ▶ シアルサン受容体生ウイルスと同等のシアルサン受容体経由の細胞吸着性



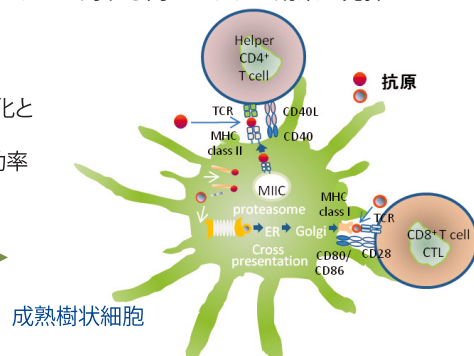
抗原保持BC-PIV
(●:抗原)

長所2. 免疫誘導細胞(APC)の効率的な活性化

- ▶ BC-PIVはバイオコム独自の不活化システムを開発(特許出願済)
- ▶ 生ウイルスと同等の高い細胞吸着性を保持 ⇒効率よく抗原をAPCに導入
- ▶ 生ウイルスと同等の免疫活性化を保持(下図)
⇒効率よくAPCを活性化し、感染症およびがんに対する高いワクチン効果を発揮



- ◎BC-PIVは樹状細胞の成熟化と導入抗原の提示を誘導
- ◎細胞性免疫と液性免疫を効率的に誘導



・BC-PIVは感染症・がんのモデル動物で高い有効性が確認されております。
 ・バイオコムはインフルエンザ[®]、RSV、エボラウイルス等の感染症ワクチン、免疫チェックポイント阻害剤等・アジュバントとの組合せによる癌免疫治療剤の開発に取り組んでまいります。